



中村村政2期目始動!

占冠村に住んで良かった いつまでもこの村に住んでいたいと 思える村づくり

中村村長が村政2期目にあたり、9月定例議会で村政運営の所信表明を行いました。その概要をお知らせします。

村政執行の 基本的な考え

2期目は、1期4年の実績・反省を踏まえ、私の村政執行の理念であります「すべては村びとのために」、村びとは村びとのために」を引き続き持ち、地方公共団体の基本的な役割である住民福祉の増進を図ってまいります。

占冠村では、平成23年10月に道東自動車道が全線開通し、陸の孤島から交通の要衝へ、また光ケーブルなど社会的インフラが整備されました。一方、エネルギーの地産地消、森林資源の利活用、高齢者福祉施設の整備といった今日的課題があり占冠村総合計画の見直しを行いました。

今後は本計画を基にし、見直し計画を重点に村政を推進してまいります。

具現化するためには、村民の皆様一人ひとりが村づくりに参加・参画することが必須であります。その仕組みを構築しながら具体的な政策を進めてまいります。

活気ある生活 のための

第1に、村民の皆様が活気ある生活を送ることです。

一つは、農業・林業・観光の基幹産業を振興し、それぞれが補完しあいながら経営基盤の強化を図ることにあります。

次に、村づくりの基本はそ

こに住む人たちの生活であります。それぞれ特色のある4集落に住む人たちが、自分たちが住んでいるところをどのようににしたいか膝を交えて話し合い、これからの集落の方向性を見出してまいります。

安全・安心の 暮らしのための

第2は、村民の安全で安心な暮らしです。

医療の充実を図りながら子育てや高齢者の福祉施策を拡充し、住民福祉の増進を図るとともに、防災対策を進めてまいります。

東日本大震災の教訓により、新エネルギーの導入、エネルギーの地産地消をめざします。本村におきましても木質バイオマスを導入し、小さな一歩を踏み出しました。

明日を担う 子どものために

第3は、明日を担う子ども

の教育環境づくりです。

のもで確かな学力を身につけ、健やかに成長していけるように、教育環境の整備や学習機器の充実を進めてまいります。

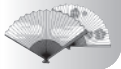
感性が瑞々しいときの体験は、グローバル化が進む今日では大変貴重なものであります。アスペン市との短期交換留学、広島平和体験学習などの体験事業は子どもの未来を考え継続してまいります。

結び

結びに、政権が交代し政策が先行き不透明なところがありますが、占冠村は占冠村の進むべき路があります。村民の皆様が村づくりに参加・参画し「占冠村に住んでよかった」「いつまでも住んでいたい」と思っていただけの村を実現するため全身全霊を尽くして取り組んでまいります。



平成25年度 合同金婚式・敬老会



元気だよ!

9月13日(金)、平成25年度合同金婚式・敬老会がコミュニティプラザで開催され、70歳以上の方々82人をお迎えし長寿と健康をお祝いました。

今年金婚式を迎えられたご夫婦は3組で、「卒寿」、「米寿」、「傘寿」を迎えられた皆様には、中村村長から感謝状と記念品が贈呈されました。

祝宴では、占冠保育所園児によるお遊戯や村有志の皆様による楽しい余興が披露され、楽しい1日を過ごしました。



占冠保育所園児によるお遊戯



見事な吟舞を披露



二人羽折りで大盛り上がり



締めには、恒例の盆踊りで

